

# 鉄斎

花鳥画

会期

3月11日(水)～5月31日(日)

月曜日休館

(但し 5月4日は開館 5月6日は休館)



ここにいう花鳥画というジャンルは、文字通り「花や鳥の絵」として、今では何らの抵抗もなく東洋画の一主題と受けとめられている。しかし元来、中国においてまず人物画が主として貴人の姿やその功名を後世に伝え遺すために発生し、次に自然のうちに宇宙の摂理をみる山水画が成立し、花鳥画は遅れて宋の頃、皇帝徽宗と伝えられる作品等に見るようなスタイルで、画院に盛行した鑑賞画である。これをやや細かくいうと、花卉・草虫・翎毛とわかつのであって、花卉・草虫はともかく、翎毛とは家禽（主に鳥類）をさし、のち日本ではそれらをあわせて花鳥と称したのである。絵画を分類するのに、いつしか人物・山水・花鳥

といういい方が定まったが、いずれにせよ

これらの主題は、それぞれの時代相や世の好尚にあわせて、種々な変容をみせてきたことはいうまでもない。

鉄斎が「花鳥画は婦女子の慰み」と云っていたことが伝わり、この分野がやや軽んじられるむきがあるが、それには理由がある。それは鉄斎があくまでも学者・文人の精神を一貫して持ち続けて作画をしたからで、鉄斎にとって絵画とは第一義的には胸中の丘壑を映じるものであり、精神的な意味内容、時には倫理性さえもそれに付加していたからに他ならない。「婦女子の云々」は、今日、いい方として穏当でないのは勿論であるが、それは時代のなせる業であって、大説・思想が男子の抱懐するものであれば、小説・芸能等が女子の嗜みとされた時代を物語っているに過ぎない。また、



7 群卉競芳図



24 花中君子図

現代の社会機構を考え、或いは現代の芸術論にたてば、芸術観照は自由で又個別的であり、またその価値も、視覚がイメージする画面自体に個有の美を認知しようとする方向へ移りつつあるのであるから、鉄斎のように、本来、聖賢神仏を敬し、歴史や故実を重んじ、ひろく日本全国を歩いて真景と風俗を写し、あるいは古典の世界を渉獵する事から現実の俗気を払って独自の思想表現をなそうとする向きには、単なる花鳥風月は、自ずから領域を異にするというわけである。

さて今回、現実には描かれた作品を調べてみると、対象となる花卉、草虫、翎毛の類はかなりの量にのぼることがわかった。多作な鉄斎のことであるから当然ともいえるが、その作風は多彩、しかも形式において屏障の大画面から扇子に至るまで、それぞれの画面に応じて、大なるは豪快或いは無雑作に、小には繊細、巧緻に描きこんで自在である。多彩なる作風というのにも、鉄斎ならではの工夫や大胆な筆触がみられるが、それは他の人物や山水画と同様、先人のあらゆる技法を自家薬籠中のものとした結果である。しかしながら、さまざまな技法を超えたところに鉄斎独特の解釈があるのは勿論で、それはやはり、思想内容であり、精神であるということに帰着する。たとえばごく初期の作である「群卉競芳図」(7図)は、かなり写生的な絵であるが、自作



27 富貴国香図



30 還曆祝寿図

の詩による賛によれば、二王の書を臨写したり、碑本を展べたりする間に閑静を得て描いたとされ、すでに文人生活のうちにあった鉄斎の姿が窺われるものであり、70才代の作になる「落花遊魚図」(56図)には、余は隠士なり……との賛を見る如くである。また古来、中国人が人間精神のあり方を自然に仮託して、

くり返し描いてきた画題である四君子についていえば、鉄斎も少なからぬ作をのこしている(28図「懸崖蘭図」、61図「菊花図」、63図「竹石図」、96図「鶯宿梅図」など)。そのほか花中君子なる名の清廉な蓮花(24図「花中君子図」、歳寒に耐えて咲く水仙(78図「扇水僊図」、富貴の代名詞たる牡丹(27図「富貴国香図」、94図「富而不驕図」)など



61 菊花図

は殊のほか鉄斎の好んだ花であった。鳥類(走獸類も)はやや少ないとはいふものの、やはり同様の趣きで、それぞれが何らかの意味を有している。鉄斎に特徴的なのは、それらが何らかの記念、慶祝、或いは吉祥を念じたものである場合が少くないことで、形似の表現に腐心することなく、むしろ契機に動かされて描かれたそれらの作品には、とりわけ自由な意外性が認められるのも見逃せない。猿を描いて還暦を自祝した「還暦祝寿図」(30図)や、柘榴ほかの果実を描いた「多福多寿多男子図」(39、66図)等の奔放な表現のうちに、鉄斎の真骨頂たる寓意のほか、生を寿ぐ教えも隠されているのである。

以上をみれば、鉄斎における花鳥画の意義は明瞭である。鉄斎は花鳥画を絵画としてけっして軽んじていたわけではなく、もし前述の鉄斎の言を補足するとすれば、やはり「単なる花鳥画は婦女子の云々」といい直して鉄斎の真意を伝えるほかはない。いずれにせよ、対象が花鳥であれ何であれ、鉄斎にとってはそれが自己の求める世界の端的な表出手段であったことには変りはなかった筈である。

貴重なお所蔵品を快くご出品頂きました各位に、深甚の謝意を表します。



78 扇水僊図

なお、今回出陳の虎・猿・兎・鯰などの走獸・魚類については、花鳥画とはいえないが、鉄斎の“動物表現”の中に含めて鑑賞して頂くこととした。

(鉄斎美術館館長)

# 《出品目錄》

番号	題名	制作年代	年令	本紙寸法	材質・彩色	形状
1	名花十友 図	1866 (慶応2)	31	122.0×50.5	紙本 着色	掛軸
2	蔬菓 図	1866 (慶応2)	31	15.8×244.0	紙本 墨画	卷子
3	菖蒲 図	1867 (慶応3)	32	115.5×30.7	紙本 淡彩	掛軸
4	松鶴 長寿 図	1867 (慶応3)	32	136.0×32.6	紙本 淡彩	掛軸
5	花花瓶 図	1867 (慶応3)	32	162.0×154.0	紙本 着色	二曲屏風一隻
6	花群 瓶 図	1869 (明治2)	34	135.5×30.6	紙本 墨画	掛軸
7	花群 瓶 図	1869 (明治2)	34	126.5×70.4	絹本 着色	掛軸
8	花群 瓶 図	1869 (明治2)	34	125.4×41.9	紙本 墨画	掛軸
9	竹画 雙幅 図	1869 (明治2)	34	(各)134.0×59.0	紙本 墨画 墨書	掛軸
10	松 図	1869 (明治2)	34	135.4×19.5	紙本 墨画	掛軸
11	紅煤・人物・桂華 図	1872 (明治5)	37	(各)120.8×33.4	紙本 着色	掛軸
12	蔬菓 図	不詳	30代	138.2×48.1	絹本 着色	掛軸
13	雪中 牡丹 図	不詳	30代	123.3×36.2	紙本 淡彩	掛軸
14	林中 靖 図	不詳	30代	132.2×47.0	紙本 淡彩	掛軸
15	国色 天香 図	不詳	30代	134.0×52.3	紙本 淡彩	掛軸
16	紅華 甲 図	不詳	30代	135.5×56.2	紙本 淡彩	掛軸
17	華落 花遊 魚 図	不詳	30代	125.0×30.5	紙本 墨画	掛軸
18	落秋 草堂 図	不詳	30代	127.5×54.0	紙本 淡彩	掛軸
19	秋草 堂 図	不詳	30代	33.0×49.0	紙本 着色	掛軸
20	玉盆 富貴 図	不詳	30代	154.5×50.5	紙本 着色	掛軸
21	盆栢 榴花 図	不詳	30代	101.2×34.7	絹本 水墨	掛軸
22	栢桃 中君 子 図	不詳	30代	139.0×47.5	紙本 水墨	掛軸
23	花中 木竹 子 図	不詳	40代	34.5×24.5	絹本 着色	額装
24	古蘭 貴 図	不詳	40代	67.0×30.6	紙本 淡彩	掛軸
25	富貴 崖 蘭 図	不詳	40代	145.0×38.5	紙本 淡彩	掛軸
26	懸鶴 龜祝 寿 図	不詳	50代	137.3×61.7	紙本 淡彩	掛軸
27	還曆 家全 慶 図	不詳	50代	117.0×48.6	絹本 着色	掛軸
28	蘭 図	不詳	50代	130.7×42.8	紙本 水墨	掛軸
29	鶴 龜祝 寿 図	不詳	50代	(各)12.2×38.2	紙本 着色	扇子
30	還曆 家全 慶 図	1896 (明治29)	61	45.1×62.1	紙本 淡彩	掛軸
31	蘭 家全 慶 図	1897 (明治30)	62	124.3×34.3	紙本 淡彩	掛軸
32	蘭 家全 慶 図	1897 (明治30)	62	(各)136.5×66.5	紙本 着色	二曲屏風一雙
33	柳幽 谷君 子 図	1900 (明治33)	65	169.1×184.2	紙本 淡彩	二曲屏風一隻
34	幽谷 君 子 図	1901 (明治34)	66	135.2×33.3	紙本 水墨	掛軸
35	空谷 君 子 図	不詳	60代	121.2×49.1	絹本 着色	掛軸
36	四拈 華微 笑 図	不詳	60代	68.5×37.5	絹本 着色	掛軸
37	拈華 事大 吉 図	不詳	60代	24.5×33.0	紙本 着色	掛軸
38	多福 多壽 多男子 図	不詳	60代	24.5×31.0	紙本 着色	掛軸
39	多福 多壽 多男子 図	不詳	60代	23.7×33.8	紙本 着色	掛軸
40	秋古 草木 図	不詳	60代	115.5×33.8	絹本 着色	掛軸
41	古蓮 華 図	不詳	60代	(各)167.0×376.0	絹本 水墨	六曲屏風一雙
42	蔬菜 図	不詳	60代	16.1×51.8	紙本 淡彩	扇面額装
43	松昇 平瑞 靈 図	不詳	60代	27.7×146.8	絹本 着色	卷子
44	松昇 平瑞 靈 図	1905 (明治38)	70	209.8×71.1	紙本 着色	掛軸
45	昇椿 石照 梅 図	1907 (明治40)	72	103.3×35.1	絹本 着色	掛軸
46	椿寒 月照 梅 図	1907 (明治40)	72	127.0×108.5	紙本 着色	衝立
47	松枯 柯頑 石 図	1911 (明治44)	76	137.0×34.5	紙本 水墨	掛軸
48	松枯 柯頑 石 図	1912 (明治45)	77	132.5×65.2	紙本 淡彩	掛軸
49	枯長 柯椿 古石 図	1912 (明治45)	77	121.5×40.3	紙本 着色	掛軸
50	長守 千 歳 図	1912 (大正1)	77	133.0×60.0	紙本 水墨	掛軸
51	長守 千 歳 図	1914 (大正3)	79	109.8×42.7	紙本 淡彩	掛軸
52	三鯉 魚雁 草 図	1914 (大正3)	79	71.0×68.5	絹本 着色	掛軸
53	鯉蘆 雁草 魚 図	1914 (大正3)	79	143.8×40.7	紙本 水墨	掛軸
54	蘆秋 落 図	不詳	70代	136.5×68.4	紙本 淡彩	掛軸
55	蘆秋 落 図	不詳	70代	68.5×62.0	絹本 淡彩	掛軸
56	落 園 養 素 図	不詳	70代	134.6×46.5	紙本 淡彩	掛軸
57	邱 園 養 素 図	1915 (大正4)	80	140.0×51.0	絹本 着色	掛軸

番号	題名	制作年代	年令	本紙寸法	材質・彩色	形状
58	月中兔影 図	1915 (大正4)	80	142.5×39.1	紙本 水墨	掛軸
59	鷺 図	1915 (大正4)	80	140.3×55.7	紙本 淡彩	掛軸
60	佳実 図	1915 (大正4)	80	129.4×29.9	紙本 着色	掛軸
61	菊花 図	1915 (大正4)	80	36.4×48.3	紙本 着色	掛軸
62	蝴蝶 図	1915 (大正4)	80	16.5×53.0	紙本 着色	扇面額装
63	竹石 図	1915 (大正4)	80	16.5×51.4	紙本 水墨	扇子
64	碧桃寿鳥 図	1916 (大正5)	81	168.5×72.3	絹本 着色	掛軸
65	鳳鳴朝陽 図	1916 (大正5)	81	143.0×41.6	絹本 着色	掛軸
66	多福多寿多男子 図	1916 (大正5)	81	17.4×53.1	紙本 着色	扇面額装
67	祝慶 扇	1916 (大正5)	81	(各) 16.2×48.5	紙本金地着色	扇子
68	猛虎 図	1917 (大正6)	82	141.8×53.3	紙本 着色	掛軸
69	八哥育兒 図	1918 (大正7)	83	19.8×57.9	絹本金地着色	扇面額装
70	四君子絵桐四枚折屏風 図	1919 (大正8)	84	155.8×194.0	桐板 着色	四曲屏風一隻
71	歲寒二雅 図	1920 (大正9)	85	132.3×33.6	紙本 淡彩	掛軸
72	桃花 図 蓮月尼短冊貼交	1920 (大正9)	85	52.0×58.6	紙本 淡彩	掛軸
73	模花山茶水僊華 図	1920 (大正9)	85	47.0×57.5	絹本 着色	掛軸
74	盆蘭 図	1921 (大正10)	86	132.0×32.0	紙本 淡彩	掛軸
75	田舎清味 図	1921 (大正10)	86	133.0×32.0	紙本 着色	掛軸
76	鰲負蓬萊 図	1921 (大正10)	86	48.1×56.7	絹本金地着色	扇面額装
77	静坐息機 図	1921 (大正10)	86	17.6×53.0	紙本 着色	扇面額装
78	扇水僊 図	1921 (大正10)	86	16.5×49.4	紙本 着色	扇子
79	歲朝 図	1922 (大正11)	87	132.6×32.4	紙本 淡彩	掛軸
80	歲懸寒崖二墨友竹 図	1922 (大正11)	87	16.4×53.0	紙本 着色	扇面額装
81	懸水郷清 図	1923 (大正12)	88	146.0×40.1	紙本 水墨	掛軸
82	甘谷菊叢 図	1923 (大正12)	88	130.7×31.0	紙本 淡彩	掛軸
83	吉祥聚叢 図	1923 (大正12)	88	150.2×40.3	紙本 水墨	掛軸
84	吉松芝不老 図	1923 (大正12)	88	131.3×44.9	紙本 淡彩	掛軸
85	猿猴捉月 図	1924 (大正13)	89	150.3×40.0	紙本 淡彩	掛軸
86	猿猴捉月 図	1924 (大正13)	89	131.0×32.1	紙本 水墨	掛軸
87	忠孝雙全 図	1924 (大正13)	89	132.9×33.2	紙本 着色	掛軸
88	花鳥 図	1924 (大正13)	89	133.9×33.1	紙本 淡彩	掛軸
89	桃老松白鶴 図	1924 (大正13)	89	130.6×32.3	紙本 淡彩	掛軸
90	花中君子 図	1924 (大正13)	89	121.7×60.3	紙本 着色	掛軸
91	鐵齋・春子合作帖 図	1924 (大正13)	89	18.6×54.8	絹本 着色	扇面額装
92	鐵齋・春子合作帖 図	1924 (大正13)	89	(各) 26.7×23.7	紙本 淡彩	画帖
93	枯木竹石 図	1924 (大正13)	89(90)	146.5×40.5	紙本 水墨	掛軸
94	富而不驕 図	1924 (大正13)	89(90)	38.0×28.0	紙本 着色	額装
95	瓶菊 図	1924 (大正13)	89(90)	16.6×53.8	紙本 着色	扇面額装
96	鶯宿梅 図	1924 (大正13)	89(90)	16.6×53.8	紙本 淡彩	扇面額装
97	仏法僧鳥 図	1924 (大正13)	89(90)	16.6×54.8	紙本 淡彩	扇子
98	贈君百扇 扇					扇子

4. 20. 21. 52. 辰馬考古資料館蔵 22. 47. 81. 93. 布施美術館蔵 45. 車軒文庫蔵 48. 大和文華館蔵 98. 高島屋史料館蔵

出品作品は期間中下記の通り三回にかけて展示いたします。

但し一部作品は重複することがあります。

第一回 3月11日(水)～4月5日(日)

第二回 4月7日(火)～5月5日(火)

第三回 5月7日(木)～5月31日(日)

鉄齋美術館 〒665 宝塚市清荒神清澄寺山内 電話 宝塚(0797)84-9600  
昭和62年3月9日 印施